

令和6年度全国学力・学習状況調査本校結果の概要

行方市立麻生東小学校

令和6年4月に小学校第6学年を対象に実施された、「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果について、本校の概要をお知らせします。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 結果の概要

児童主体を意識した授業改善と、ICT活用の推進により、児童の学び方が変化し、学力の定着が見られるようになりました。

【国語】

・「話すこと・聞くこと」

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することはできています。目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関連付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題がみられました。聞き手が求めていることに答えたり、教え合いをしたりするなどして、相手意識をもった授業を進めています。

・「書くこと」

目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができています。

・「読むこと」

人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることはできています。登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることに課題がみられました。行動描写や心情描写、情景描写等の違いを適切に捉え語彙を増やしていくよう指導していきます。

・「我が国の伝統文化に関する事項」

日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみることに課題がありました。読書の量を増やすだけでなく、授業と平行して読書を進め、読書の質の向上を図っていきます。

【算数】

・「数と計算」

除数(割り算における割る方の数)と商の大きさの関係について理解していました。数量の関係を□を用いた式で表すことに課題がみられました。文字式や方程式の基礎として重要ですので、言葉で表した問題場面を式にも表せるよう指導していきます。

・「図形」

角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述することはできていました。円柱の直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかをみることに課題がありました。具体的操作やICTを活用して理解を進めるよう指導していきます。

・「変化と関係」

速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかをみることに課題がありました。単位量当たりの大きさについて学び直し、単位量をあたりの大きさを用いて比べることができるよう指導していきます。

【質問紙】

- ・学習の中で、タブレットPCなどのICT機器使用する回数や、分からないことを調べたりする用途、楽しみながら学習を進めている状況などICT機器を活用している児童が増えています。
- ・毎日、朝食を食べていない児童が一定数いること、また、毎日同じ時間に寝ていない児童も一定数みられます。基本的な生活習慣の定着に課題があります。